

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 5月号

2023年5月8日
(一財) マイクロマシンセンター
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

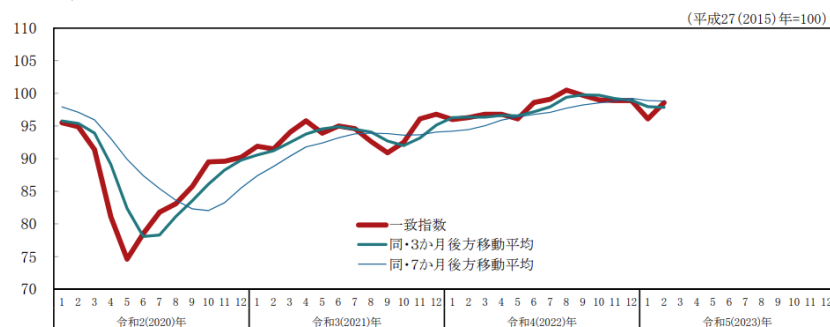
1. 全般動向

- 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)
令和5 (2023) 年2月分速報からの改訂状況 (令和5(2023)年4月27日発表) より
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202302rsummary.pdf>

- ① 2月分CI (平成27(2015)年=100) (改訂値)は、
先行指数：98.0、一致指数：98.6、遅行指数：99.8

	2月分C I (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	97.7	98.0
一致指数	99.2	98.6
遅行指数	99.2	99.8

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (C I一致指数) は、足踏みを示している。
一致指数の推移



- ▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>
- ▶ 参考 - 景気動向指数「令和5 (2023) 年2月分 (速報) (令和5年4月7日公表)」 pdf：
(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202302psummary.pdf>
(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202302report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（4月）（内閣府、令和5年4月25日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/04kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

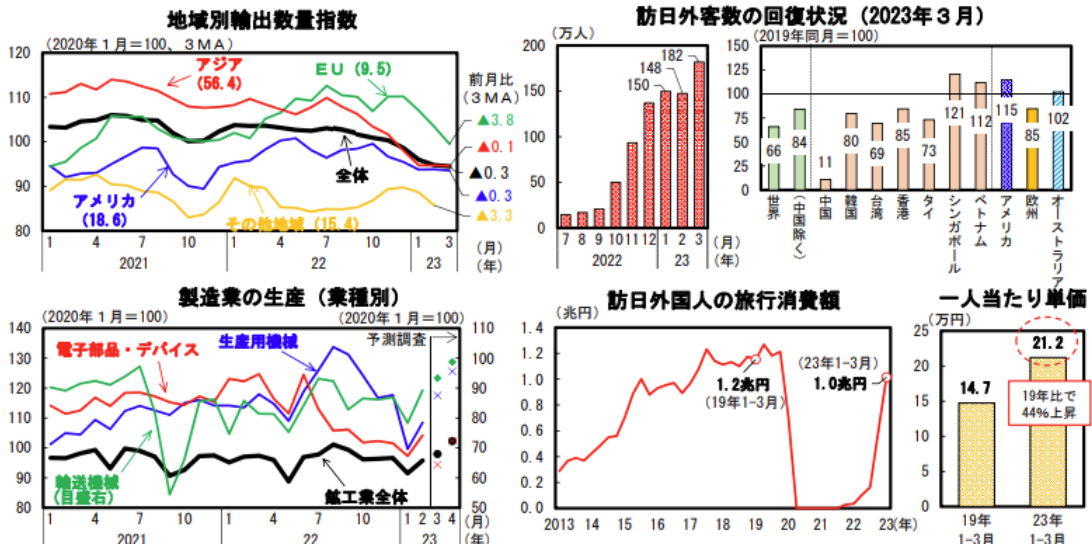
- ・ 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

今月の指標(2) 輸出と生産の動向

- ▶ 我が国の輸出は、中国の経済活動回復等を背景にアジア向けが減少傾向から横ばいに転じたものの、全体としては弱含み。
- ▶ こうした中、製造業の生産も弱含み。一方で、2月は自動車等の輸送機械を中心に増加しており、部材供給不足が緩和される中、今後の回復に期待感。
- ▶ サービス輸出であるインバウンドは堅調に増加。3月の訪日外客数は19年比で66%（中国を除くと84%）まで回復。旅行消費額で見ると1-3月期に1.0兆円と、19年比で88%の水準。1人当たり単価は円安もあって19年比で4割超上昇。引き続き、インバウンド需要の拡大に期待。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和5年4月）」(pdf) : <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/0425getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ : <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ : <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和5年2月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年4月12日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

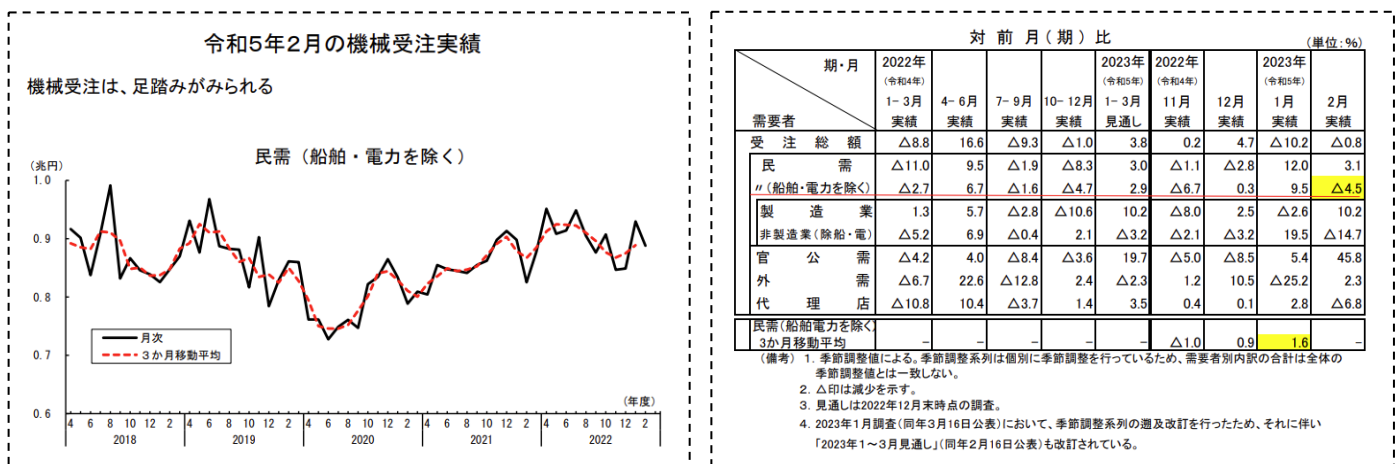
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2302juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2023（令和5）年1月前月比10.2%減の後、2月は同0.8%減の2兆5,067億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比3.1%増の1兆866億円、官公需は同45.8%増の3,567億円、
外需は同2.3%増の1兆1,228億円、代理店は同6.8%減の1,146億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2023（令和5）年1月前月比9.5%増の後、2月は同4.5%減の8,880億円となった。
このうち、製造業は同10.2%増の4,333億円、非製造業（除く船舶・電力）は同14.7%減の4,606億円となった。

(以下図表は「令和5年2月の機械受注実績 概要 (PDF版)」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2302gaiyou.pdf>



▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年2月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2302juchu-1.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2023年4月28日発表)

【2023年3月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202303sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202303sj.html

ー 生産は緩やかな持ち直しの動き ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫、在庫率ともに上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、4月は上昇、5月は低下を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は緩やかな持ち直しの動きで推移している。

・生産は、前月比0.8%の上昇。

上昇業種：自動車工業、生産用機械工業、
化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)等
低下業種：電子部品・デバイス工業、汎用・業務用機械工業、
無機・有機化学工業等

・出荷は、前月比0.4%の上昇。

上昇業種：自動車工業、生産用機械工業、電気・情報通信機械工業等
低下業種：電子部品・デバイス工業、汎用・業務用機械工業、
石油・石炭製品工業等

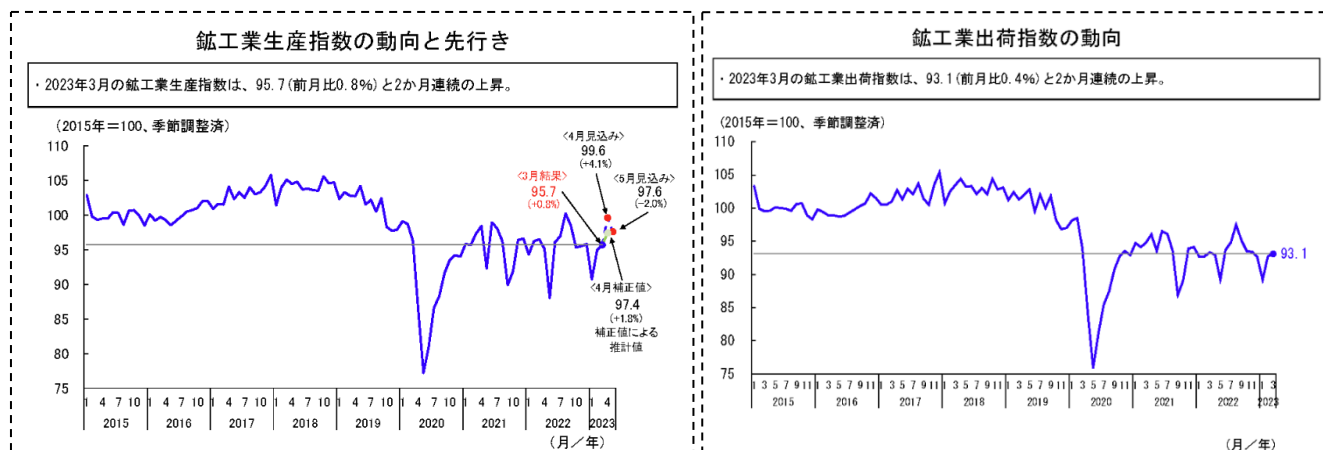
・在庫は、前月比0.6%の上昇。

上昇業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業等
低下業種：石油・石炭製品工業、電子部品・デバイス工業、無機・有機化学工業等

3月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230428_1.html

(解説) 3月の鉱工業生産は、自動車工業や生産用機械工業を中心に上昇したことなどから、全体として前月比0.8%と、2か月連続の上昇。基調判断は、「生産は緩やかな持ち直しの動き」に引き上げ。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年4月28日発表より抜粋)

【2023年2月動向概況】

- ・ **2023年2月のグローバル出荷額は**
3,522億円、前年比109.8%となり、前年比プラスとなった。
- ・ **品目別出荷は**
受動部品 (前年比109.0% 1,714億円)、接続部品 (同108.8% 856億円)、
変換部品 (同108.4% 500億円)、その他の電子部品 (同116.4% 449億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**
日本 (前年比111.9% 761億円)、米州 (同105.8% 391億円)、
欧州 (同100.3% 344億円)、中国 (同118.6% 1,253億円)、
アジア・その他 (同101.4% 765億円) となった。

1. 月別出荷金額 (2023.04.28発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	12月		1月		2月		4月-2月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
世界計	3,423	94	3,232	90	3,522	109	40,429	103
(日本)	766	93	679	93	761	111	8,259	99
受動部品	1,633	93	1,524	87	1,714	109	19,317	102
コンデンサ	1,147	92	1,088	85	1,206	106	13,636	101
抵抗器	159	102	146	96	159	110	1,853	110
トランス	49	124	43	106	49	149	512	128
インダクタ	247	94	217	91	269	125	2,899	101
その他	29	66	26	58	30	71	414	90
接続部品	856	98	765	90	856	108	9,915	108
スイッチ	331	101	316	95	331	106	3,785	107
コネクタ	521	96	445	87	521	110	6,091	108
その他	3	105	3	127	3	122	38	118
変換部品	493	88	544	102	500	108	6,352	109
音響部品	19	69	24	86	20	98	254	85
センサ	194	89	178	82	200	98	2,234	93
アクチュエータ	279	89	341	120	280	117	3,863	125
その他の電子部品	440	93	398	85	449	116	4,843	95
電源部品	235	125	218	121	233	134	2,471	124
高周波部品	205	72	180	63	216	101	2,372	77

2. 地域別出荷金額 (2022年度)

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	12月		1月		2月		4月-2月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	3,423	94	3,232	90	3,522	109	40,429	103
日本	766	93	679	93	761	111	8,259	99
米州	388	112	391	106	391	105	4,682	123
欧州	323	109	417	117	344	100	4,102	113
中国	1,188	85	935	71	1,253	118	14,184	96
アジア他	751	96	806	97	765	101	9,150	107

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上